

「備えあれば憂いなし」 防災訓練を実施



今年で、第3回目を迎える市防災訓練が8月21日、市運動公園多目的広場で行われました。当日は、「午前7時00分に、茨城県南部を震源とする直下型地震が発生し、本市でも震度6弱を記録、市内各所で家屋の倒壊や火災、道路の損壊、車両事故などのほか、電気、電話、ガス、水道などの生活関連施設に大きな被害が発生。また、小貝川の堤防に漏水箇所が発見され、災害の発生する恐れがある」との想定で行われ、多くの市民の皆さんをはじめ、関係者に参加いただきました。

市と防災関係機関はもとより、地域住民や防災ボランティア組織などのスムーズな連携を重点課題に、また、防災関係機関の保有する車両、資機材などの特性と機動力を生かし、人命優先とした応急対策訓練として実施しました。



市では、市長を本部長とする「つくばみらい市災害対策本部」および「現地対策本部」を設置、市民の安全確保のため、市内全域に避難勧告を出し、被災者の救援救助のため、「避難所」の開設運営や炊き出し、仮設トイレ設置、非常食や救助物資受け入れ訓練などを行いました。

防災ボランティアの方々は、自宅から避難所まで障害物や危険箇所の情報収集をしながら徒歩で避難。また、建設業協会土浦支部つくば分会の方々は、建設機械を搬入し、土砂崩れ現場から被災者を救助、つくばみらい消防署では、エアテントを設置し、応急手当のほか建物内に取り残された被災者の救出を実施しました。また、茨城県防災航空隊による、防災ヘリでの被災者搬送訓練などが本番さながらに行われました。

各学校世帯数および回収率

	世帯数	回収数	回収率 (%)
小張小学校	227	93	40.97
谷井田小学校	239	147	61.51
豊小学校	88	38	43.18
三島小学校	73	44	60.27
板橋小学校	381	118	30.97
東小学校	40	16	40.00
谷原小学校	119	45	37.82
十和小学校	72	61	84.72
福岡小学校	63	30	47.62
小絹小学校	507	330	65.09
全小学校	1809	922	50.97
伊奈中学校	310	259	83.55
伊奈東中学校	264	96	36.36
谷和原中学校	168	78	46.43
小絹中学校	301	125	41.53
全中学校	1043	558	53.50
合計	2852	1480	51.89

※兄弟がいる場合はどちらか一方で提出していただきましたので、基準となる世帯数は、児童生徒数ではなくPTA会員数となっております。

市では、少子化が進行して児童数が減ってしまい、ある学校では複式学級の基準になってしまった学年があります。その一方で、つくばエクスプレス沿線の開発「みらい平地区」では、児童生徒数が増加しています。このように、市内では児童生徒が減っている地区と増えている地区があり、さらに、学校の耐震化の問題もあり、複雑な状況を生み出しています。

こうした状況の中、1学期末のPTA懇談会の時に各小中学校へ市職員が伺い、保護者の

58 問 谷和原庁舎学校教育課
2111 (内線8203)

方々に、義務教育施設の適正規模・適正配置について説明会を開催し、「教育環境に関する意識調査」のお願いをしました。

今回は、学校を通じて提出していただいた、調査の回収率について掲載させていただきました。

調査結果につきましては、現在事務局で集計作業中です。作業が完了次第お知らせしたいと思います。

**未来を担う子どもたちの
これからの学校づくりのため** (3)